

研究課題番号	2-1910
研究課題名	基礎自治体レベルでの低炭素化政策検討支援ツールの開発と社会実装に関する研究
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	千葉大学
研究代表者名	倉阪 秀史

1. 委員の指摘及び提言概要

自治体別に低炭素化政策を検討するための支援ツールを開発し、気候変動対策の検討や学校教育などの地域人材育成の場で社会実装を推進したことを評価する。自治体が削減を検討する場合に、もっと広域の要件で決まってしまう電力会社の排出係数は自らの手で動かせない外部要因となってしまう。その点を十分に検討した方がよい。今後は、自治体などが手軽に温室効果ガス削減等を検討できるカーボンニュートラルシミュレーターの更なる高度化を進めてほしい。AIM グループ等との連携は有効であろう。この研究成果が地域脱炭素ロードマップの進展に寄与することを期待したい。研究成果の発表は国民との対話を含めて活発になされている。

2. 採点結果

評価ランク：A